

## ～勝ち残りの可能性と課題～

<YU'h 7UfY' =bcj Uh]cb&%  
6G7

=7H

2025 年、団塊の世代が後期高齢者になる時点での医療介護資源の偏在と枯渇が叫ばれている中、厚労省は自治体ごとの地域医療構想を基に、病床必要量と需給バランスの取れた病床編成を、具体的な形で地域包括ケアシステムの実現に適合させていこうとしています。

この環境の中で会員の皆様の病院経営をどちらの方向に推進していくべきかの決断は重要な勝ち残りのための課題です。

この課題を解決する為に、今回、厚労省の諮問委員でもあり、国際医療福祉大学大学院教授の武藤正樹教授を基調講演者として招聘して、これからの病院経営に対する示唆を頂きたいと思えます。

今回のセミナーでは、基調講演を基にグループ・ディスカッションを行い、賢い経営戦略と戦術はどうあるべきかを検討し発表して頂き実利のあるアウトカムを導く研究として開催致します。

株式会社日本医療経営研究所 代表取締役 野口哲英

fl 7 % ( \$ %+ \$

7<sup>3</sup> k cf\_

&<sup>3</sup> &<sup>3</sup> ( (:

定員：先着 50名 ※お早目にお申込みください！！

&\$z\$\$\$

対象：病院経営者ならびに管理者

: 5L °° '\$' ! ) && ! % &&

2019

お名前（役職） \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_

病院・会社名 \_\_\_\_\_

Mail: \_\_\_\_\_

# タイムスケジュール & 講師紹介

Time	内容(テーマ)	講師
13:30~	ー開場・受付ー	
14:00~14:10	ーあいさつー (株)日本医療経営研究所 代表取締役	野口 哲英
14:10~15:10	ー基調講演ー 国際医療福祉大学大学院 教授	武藤 正樹
15:10~16:10	ーグループ討議ー 参加者全員・グループに分かれて討議	参加者
16:10~16:40	各グループ討議内容の発表	
16:40~17:00	講師講評	武藤 正樹

## 講師紹介 武藤 正樹 (むとう まさき)



国際医療福祉大学大学院教授  
(医療福祉経営専攻、医学研究科公衆衛生学専攻)  
国際医療福祉大学教授 (医療マネジメント学科)

### 略歴

1949年神奈川県川崎市生まれ。1974年新潟大学医学部卒業、1978年新潟大学大学院医科研究科修了後、国立横浜病院にて外科医師として勤務。同病院在籍中1986年~1988年までニューヨーク州立大学家庭医療学科に留学。1988年厚生省関東信越地方医務局指導課長。1990年国立療養所村松病院副院長。

1994年国立医療・病院管理研究所医療政策研究部長。1995年国立長野病院副院長。2006年より国際医療福祉大学三田病院副院長・国際医療福祉総合研究所長・同大学大学院教授、2013年4月より国際医療福祉大学大学院教授(医療経営管理分野責任者)、2018年4月より現職。

政府委員としては、医療計画見直し等検討会座長(厚生省2010年~2011年)、中医協入院医療等の調査評価分科会会長(厚生省2012年~)、療養病床の在り方等に関する検討会構成員(厚生省2015年~)

学会としては日本医療マネジメント学会副理事長、日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会代表理事

著書に「2025年へのカウントダウン~地域医療構想と地域包括ケアはこうなる」(医学通信社2016年)、「医療と介護のクロスロード to2025」(医学通信社2018年)など。

### 専門分野

医療制度、医療マネジメント等

### 研究指導テーマ

地域医療構想、地域包括ケアシステム、診療報酬・介護報酬制度、地域連携システムなど、医薬品マネジメントとくにジェネリック医薬品、バイオシミラーなど、医療材料マネジメント等

日本医療経営研究所

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-23

☎: 03-5206-8199 mail: info@nichiken.com